

令和6年 12月 16日

村民の皆様へ

村長の中村です。

待ち望んでいた降雪は、12月に入り早々に小谷の里山を白く覆ってくれました。スキー場事業者の皆様をはじめ、観光に携わる皆様におかれましては、幸先の良いスノーシーズンの始まりになっているものと思います。

そんな中、12月13日にJR東日本長野支社から2025年3月15日のダイヤ改正に併せ、特急列車の輸送体系の見直しや利用状況に合わせた運行本数の見直しを行うとの報道発表がありました。

内容は、特急「あずさ5号」の運転時間および運転区間の変更として、従前より新宿発南小谷行で運行されていたものを、白馬駅での折り返し運転とし、南小谷までは入線しなくなっております。加えて、信濃大町から南小谷の間で夕夜間帯の運行本数の見直しとして、15時から22時までの間で、上り下りともに1本減便される旨が示されております。

JR東日本と西日本の起点となる大糸線の南小谷駅を有する当村において、「あずさ」号は首都圏から日本海に抜ける鉄路の大動脈であることはもとより、3つのスキー場や柵池自然園などをはじめとした観光の基幹路線でもあり、現在、インバウンドも含めて多くの皆様からご利用いただいている特急であります。

また、観光需要もさることながら、学生や通院などの利用がある普通列車においても1往復の減便は、待ち時間が増えるなど利便性が著しく低下するものであります。

今回の改正は、乗客の利用を考えない利益優先主義の表れとしか申しようがなく、到底村としては受け入れることはできないものであり、誠に遺憾であります。

今後は、様々な形・場所でダイヤ改正の再考を求めてまいりますので、村民の皆様におかれましても、ご理解いただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小谷村長

中村義明